

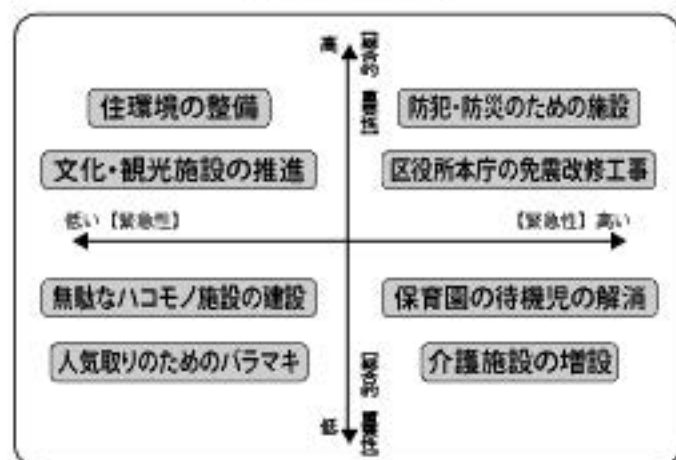
## 「緊急な課題」と「総合的な課題」とのバランスを！

### 政策の優先順位の傾向として

区政の課題を分類しますと、「緊急な課題」と「総合的な課題」という軸で整理できます。そして一般的な傾向として、「総合的な課題」よりも「緊急な課題」へと優先的に目が向きやすいことも事実です。

様々な区政に関する課題を、「緊急な課題」と「総合的な課題」の二つの軸により分類すると、以下の図のように整理することができます。

### 【区政の課題】



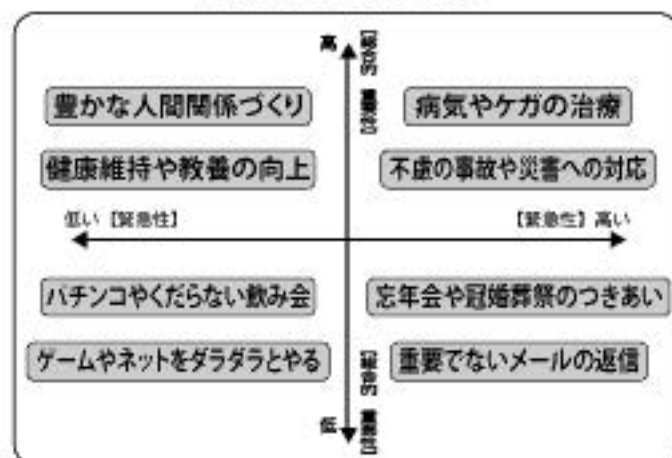
(上記の「総合的な重要性」とは、より大多数の区民にとって重要度が高いという意味で、例として示されている「保育園の待機児解消」や「介護施設の増設」の政策としての重要性が低いと言っているわけではない。これらの課題はあくまでも個別のニーズという意味で総合性が低いということである。)

この図を見ればよくわかることですが、行政も議会も「総合的な課題」よりも「緊急な課題」の方に、より力点を入れて取り組もうとしています。

緊急な課題に対して優先的に取り組むということは理解できますが、緊急ではないが総合的に重要性の高い課題に対しても、同じ程度に力を入れていくことも大切です。

これをもっと解りやすく個人の人間活動について、同じように図表に分類してみましょう。

### 【個人の人間活動】



ここでも同様に「総合的な課題」（いかなる場合においても重要性が高い）よりも、緊急の課題の方が優先されがちです。

この図表をよく眺めてみれば、誰もが思い当たるふしがあるはずです。

これはより広い国政の場においても同じです。最近になって財政赤字がどうの、少子高齢化がどうのと問題視されていますが、これらの課題はすでに何十年も前から、我が国が抱える総合的な課題として予想されていたのです。

しかしこれらの問題を先送りして、どこに橋を造るとか、どこに高速道路を造るとか、目先の個別案件ばかり取り組んできた結果なのです。

こうして考えてみると、個人の生活でも政策の決定でも、緊急ではないが総合的な重要性が高い課題に取り組むことは大切です。

私が初当選した当時からですから、もう20年近くも地域の懸案だった中井駅の改造、開かずの踏切解消も、現在ようやく進められています。本来はもっと早く解決すべき大切な課題だったのです。

そして図書館行政も同じ領域の課題と言えます。